

サステナブル金融商品に関する文献によるインパクトのとりえ方の傾向 — システマティックレビュー —

Trends in how impact is perceived in the literature on sustainable financial products -systematic review-

○清水規子^{1*}・森田香菜子^{2**}

Noriko Shimizu and Kanako Morita

1. はじめに

近年、グリーンボンド等のサステナブル金融商品の発行額の増加が顕著である。これら金融商品の財務面での健全なパフォーマンスは重要だが、同時に気候変動等の環境問題が危機的な状況にある中、環境面でのインパクトを創出し、貢献することも非常に重要である。サステナブル金融商品に関する学術論文は増加傾向にあるが、これら論文はどの程度環境課題にフォーカスしてきたのかは明らかではない。従って、本研究ではサステナブル金融商品のインパクトを議論している学術論文が、どのような観点からどのようなテーマを対象にインパクトを扱ってきたか、さらに、これら金融商品による環境課題へのインパクトについてどのような結果を導いたかを探る。

2. 分析方法

上記の目的のため、学術論文のシステマティックレビューを実施した。システマティックレビューに当たっては、Preferred Reporting Items for Systematic Reviews and Meta-Analyses (PRISMA)2020を参考に実施した。学術論文の特定にあたっては、EBSCO Host及びScience Directを利用し、グリーンボンド発行初年度の2007年以降2023年までを対象とした。検索の際はアブストラクト及び/又はタイトル及びキーワード対象とし、サステナブル金融商品と関連してインパクトを扱っている英語の論文を特定した。サステナブル金融商品の対象は、グリーン/サステナビリティ/サステナビリティ・リンク/トランジション・ボンド/ローンで、これらラベル付き商品とインパクトで検索した(例: green bond and impact)。その他類義語でも特定を試みた(例: green bond and effect)。その上で関連のない文献(主にサステナブル金融商品の名称が文献に含まれない文献)を除外し198件の学術論文を特定した。

^{1*} (公財)地球環境戦略研究機関(IGES)ファイナンスタスクフォース

Institute for Global Environmental Strategies (IGES) Finance Taskforce

〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11 E-mail: shimizu@iges.or.jp

^{2**} 慶應義塾大学 経済学部

3. 分析結果

分析の結果、198件のサステナブル金融商品に関する学術論文を特定した。この中で、グローバル・複数地域/国を対象にした文献が最も多く46%、中国が2番目に多く22%を占めた。サステナブル金融商品に関する文献がインパクトをどのようにとらえてきたかについては、商品とその他要素（マクロ経済指標等）との関係性、より踏み込んで商品（及び）その市場に/市場が与える影響という観点から議論しているものが多い（図1）。文献が扱うインパクトのテーマとしては、経済（市場全体等）に関するものが最も多く、環境関連は2番目に多い（図2）。環境インパクトを扱う文献の中でも「商品（及び）その市場が与える影響」を分析した論文は22件あり、その大部分は商品による環境への正の影響を確認している。正の影響を確認しているものは発行体の環境パフォーマンスや国レベルでの再エネ消費量等を評価軸にしていることが多い。

4. 結論

サステナブル金融商品のインパクトを議論する学術論文では、環境面からのインパクトを扱ったものも一定程度確認されたが、経済関連のインパクトを扱う文献の方が多い。環境課題への貢献は概ね正の影響が特定されたが、特定の国・発行体を対象にした特定のエネルギー技術の消費等に関する影響を分析したものも多く、気候変動緩和目標等の環境課題全体へのインパクト測定を含め、環境課題の目標に着実に学術面で貢献できるよう、環境関連のインパクトに関する研究分野の発展が重要である。

参考文献

Page, J. Matthew et al. (2021). PRISMA 2020 explanation and elaboration: updated guidance and exemplars for reporting systematic reviews.

謝辞：本研究は、環境省・（独）環境再生保全機構の環境研究総合推進費（JPMEERF20242M02）により実施した。

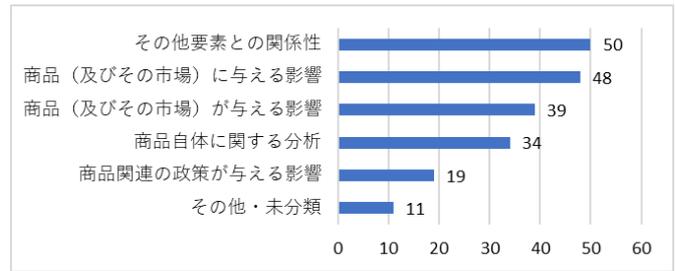


図1：文献が議論するサステナブル金融商品とインパクトの文脈（複数カウント有、n=201）

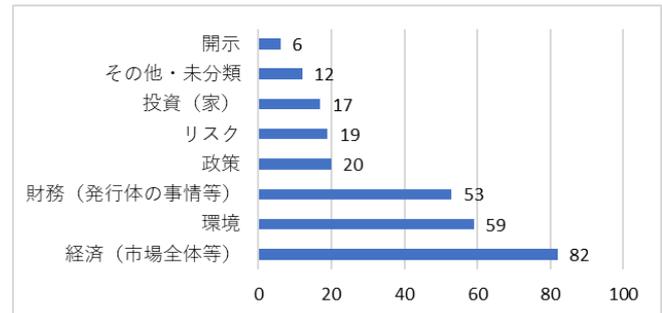


図2：文献が議論の対象としているインパクトのテーマ（複数カウント有、n=268）